

被災者に寄り添うしっかりした支援を



7月の豪雨災害による被害の概要

今年7月10日、九州北部で線状降水帯が発生し、日田市では主に小野・大鶴地域で大きな災害となりました。9月議会での防災課から議員に、被害の概要について報告がありましたので、その一部ですが掲載します。

(1) 人的被害 1件(男性・重症)

(2) 住家・非住家の被害 (単位:棟)

区分	全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	準半壊	一部損壊	合計
住家	10	5	2	9	37	45	108
非住家	11	2	1	3	7	15	39

住家・非住家の件数は罹災証明の申請に伴う判定結果を集計
 住家被害のうち床上浸水8棟、床下浸水74棟
 住家・非住家とも被害は圧倒的多数が旧日田市内の地域

(3) 公共土木施設の被害

区分	国管理	県管理	市管理	
	被害件数	被害件数	被害件数	被害額(千円)
道路(橋梁を含む)	—	17	166	396,280
河川	3	58	151	940,300
砂防	—	21	—	—
里道水路	—	—	17	68,000
公園	—	—	17	74,000
合計	3	96	351	1,478,580

<教育施設> 小野小学校の校舎の一部が床上浸水、校舎周辺やグラウンド・駐車場の冠水及び流木・土砂の流入。その他大明小中学校や朝日小学校、いつま小学校等では一部土砂流入、床下浸水などあり。

(4) 農業関係の被害

区分	被害件数	被害額(千円)	備考
農地	210	369,000	田(130件)畑(80件)
農業用施設	152	257,000	農道、水路、頭首工等
合計	362	626,000	

区分	被害件数	被害額(千円)	備考
農畜産物	26	15,494	スイカ、チンゲンサイ
生産施設	18	17,076	ハウス、梨棚、農業用機械
防護さく	41	4,515	
合計	85	37,085	

(5) 林業関係の被害

区分	被害件数	被害額(千円)	備考
林地	16	710,000	林地荒廃
林業用施設	300	908,803	主な林道66路線
合計	316	1,618,803	

(6) 商工業関係の被害

区分	被害件数	被害額(千円)
宿泊業、飲食サービス業	7	27,500
製造業	10	65,500
その他	6	17,300
合計	23	110,300

●観光施設では、小野民芸村のプール、広場水路の土砂流入、石積み損傷などが発生しています。●国指定文化財施設では、行徳家住宅は敷地に土砂流入。東屋・石段の崩壊、住宅西側斜面の崩落。

●国選定重要文化的景観の小鹿田焼の里は、104枚の棚田のうち84枚に土砂流入。棚田の石積みの崩落。

●国指定重要無形文化財の小鹿田焼では、唐臼小屋への土砂流入などで稼働不能(34丁)、唐臼の流出破損など大きな被害。